

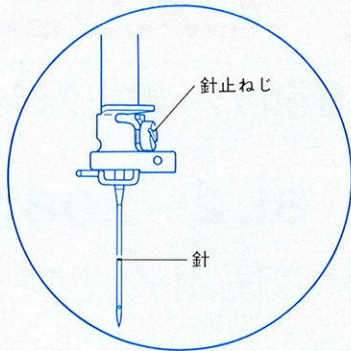
ベビーロック

普通ロック+巻ロックミシン

BL2-208型

ご使用のてびき





針止ねじ

針

押え圧調節つまみ

針糸調子目盛

針糸調子つまみ

上メス

押え金

針板

下側面カバー

下メス

糸立棒

ルーバー糸調子目盛

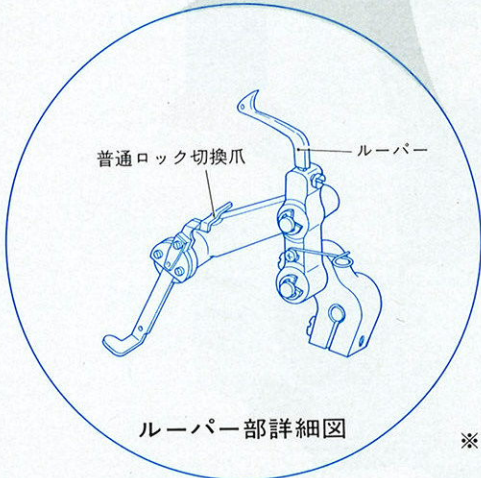
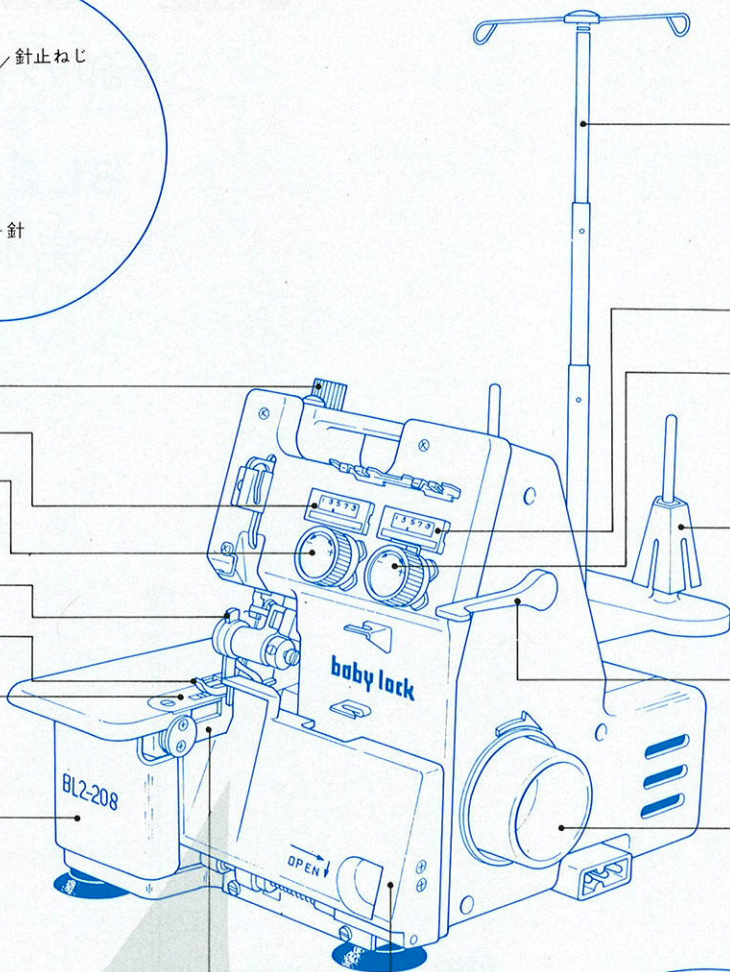
ルーバー糸調子つまみ

糸巻き受け

押え上げレバー

はずみ車

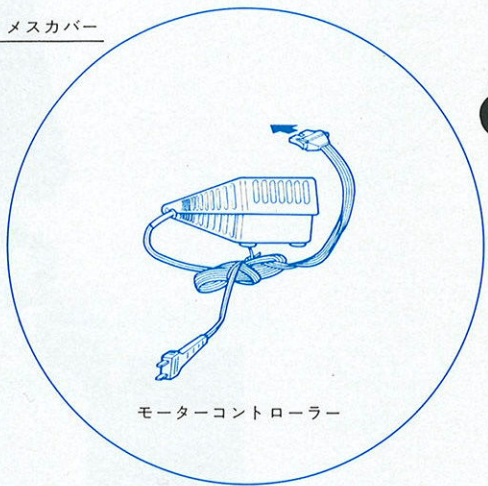
メスカバー



普通ロック切換爪

ルーバー

ルーバー部詳細図



モーターコントローラー

※安全のため使用後は電源プラグを抜いてください。
また、コントローラーの上に物を載せないでください。

はじめに

このたびは、ベビーロック BL2-208型をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

このミシンは、お客様への納品時には、生地を自動的に巻き込みながらロック縫いをする〔巻きロック用〕としてセットされておりますが、ワンタッチ操作で生地をカットしたまま裁ち目の始末をする〔普通ロック用〕としてご使用になれます。(4ページ参照)
末永くご愛用いただくためにこの手引きをお役立てください。

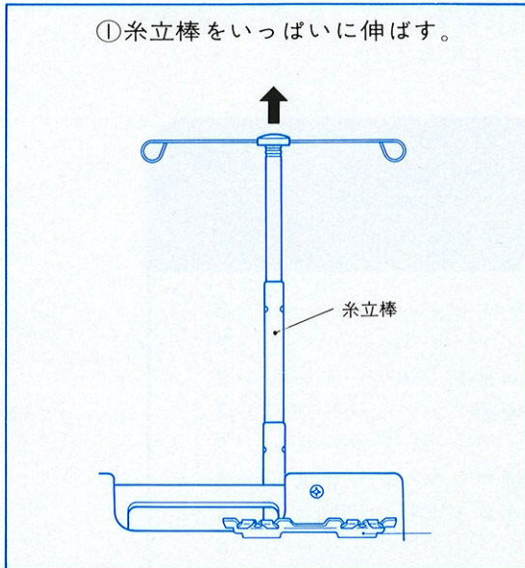
目次

1. 縫うための準備	2
1-1 糸立棒のセット	2
1-2 コントローラーのセット	2
1-3 糸のからみ具合の確認	3
1-4 布地のセット	3
1-5 巻きロックから普通ロックへの切換え	4
1-6 普通ロックから巻きロックへの切換え	4
2. 糸調子のとり方	5
2-1 標準巻きロックの場合	5
2-2 変形巻きロックの場合	6
2-3 普通ロックの場合	6
3. 布地・糸と糸調子目盛ダイヤル位置の目安	7
3-1 標準巻きロックの糸調子目盛ダイヤル位置の目安	7
3-2 変形巻きロックの糸調子目盛ダイヤル位置の目安	7
3-3 普通ロックの糸調子目盛ダイヤル位置の目安	8
4. 送り目の調節について	9
5. 押え圧力の調節について	9
6. かがり巾の調節について	10
7. 糸の交換	11
7-1 糸巻きのセット	11
7-2 使用糸の取り換え	12
7-3 糸のかけ方	13
8. 針のとりかえ方	15
9. メスの交換について	16
9-1 上メスの取りかえ方	16
9-2 下メスの取りかえ方	17
10. 給油について	18
11. ミシンライトをつけるとき	18
12. カーボンブラシの交換について	19
13. 点検と調整について	20
14. 梱包明細	20
15. 布地と糸・針の関連表	21

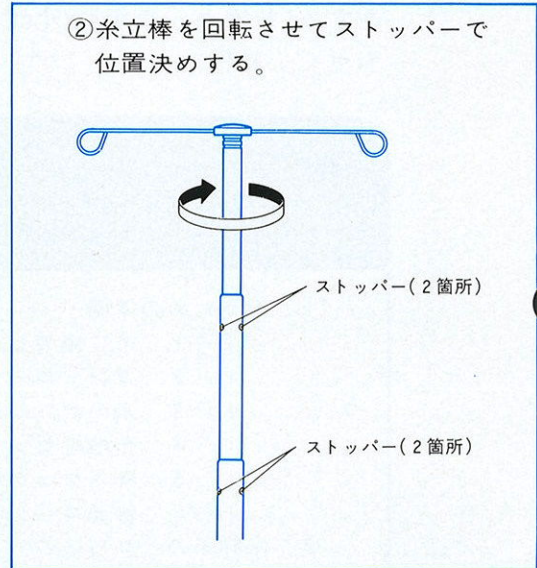
1 縫うための準備

1-1 糸立棒のセット

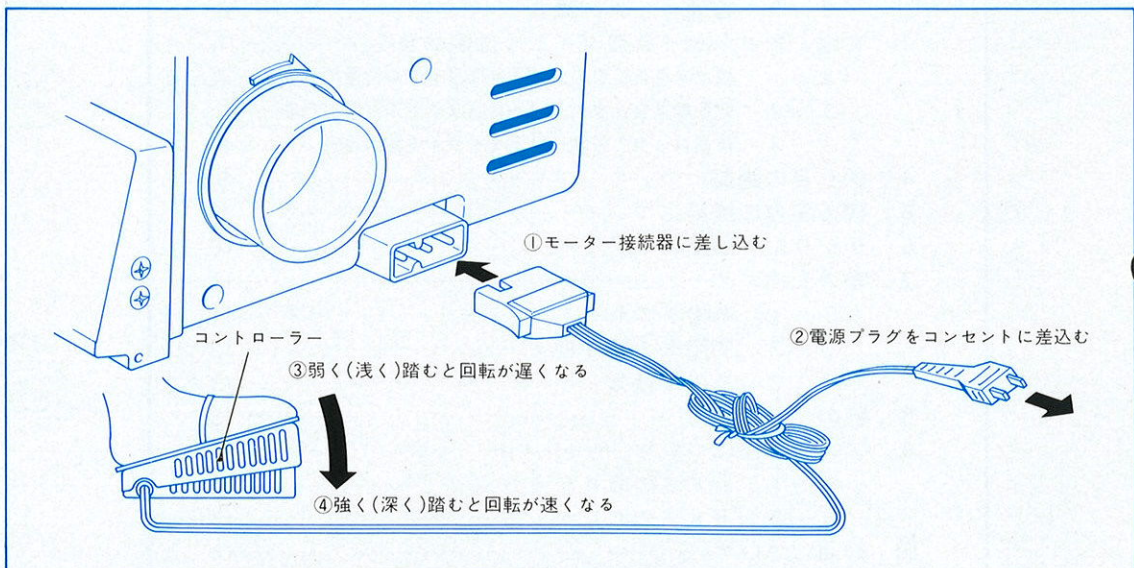
①糸立棒をいっばいに伸ばす。



②糸立棒を回転させてストッパーで位置決めする。



1-2 コントローラーのセット



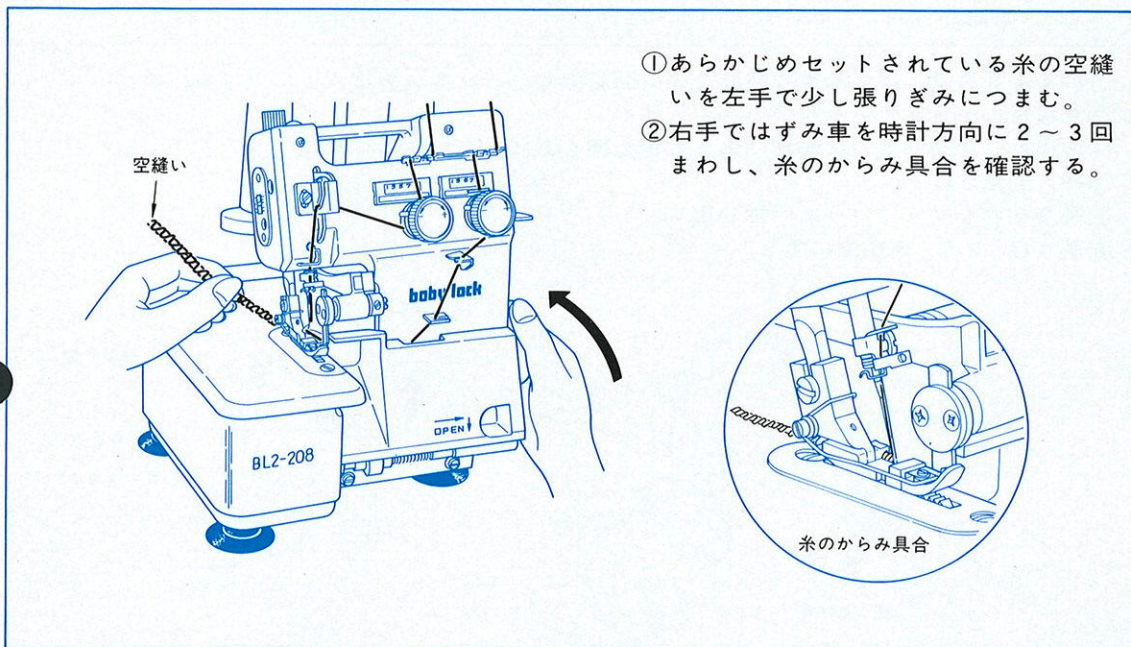
※このミシンは、家庭用ミシンとちがい逆方向に回転します。

※ミシンを連続してご使用になりますとコントローラーが暖かくなりますが、性能上では全く差しつかえありませんので、そのまま安心してお使い下さい。

※ご使用後は電源プラグを必ず抜いてください。また、コントローラーの上に物を載せないようにして下さい。

1—3 糸のからみ具合の確認

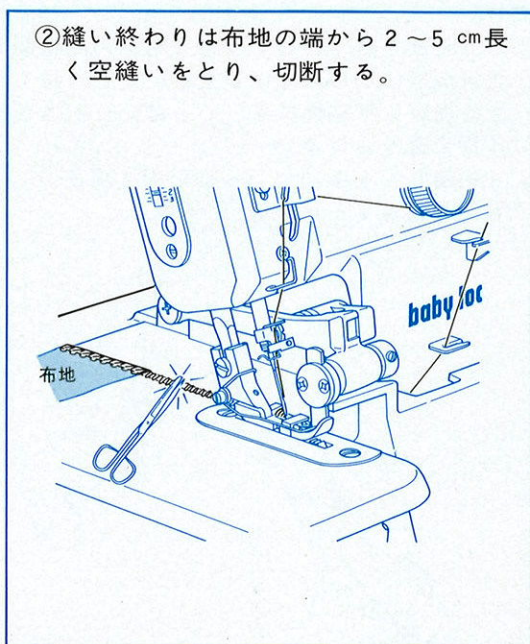
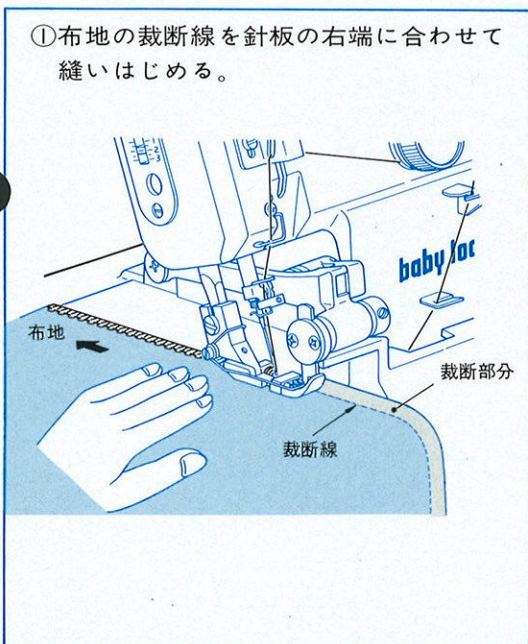
このミシンはあらかじめ糸がセットされております。



※糸を交換したり、普通ロックや巻きロックへ切替えた場合は14頁を参照して下さい。

1—4 布地のセット

このミシンは布地を裁断しながら同時に縁をかかります。

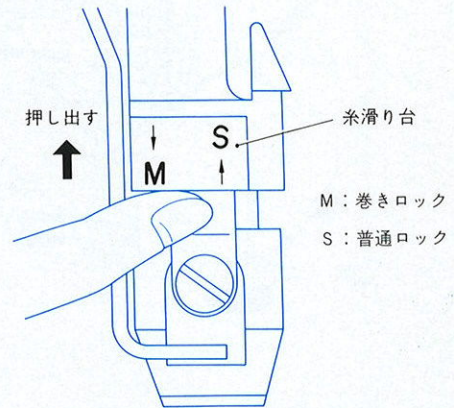
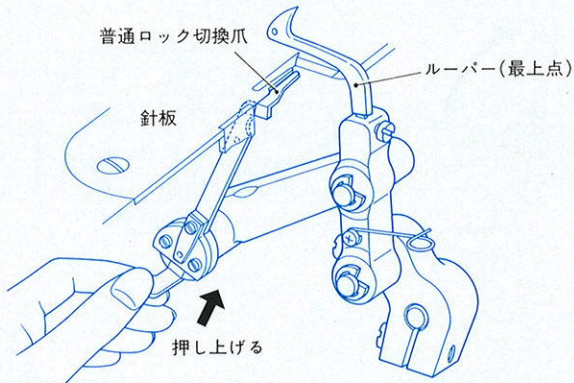


1—5 巻きロックから普通ロックへの切換え

このマシンは巻きロックと普通ロックの2つの機能を兼ねています。

納品時は巻きロックにセットされていますが、普通ロックにするときは、次の順序で行なってください。(下側面カバーを開けると切換え操作図がありますので参照して下さい)

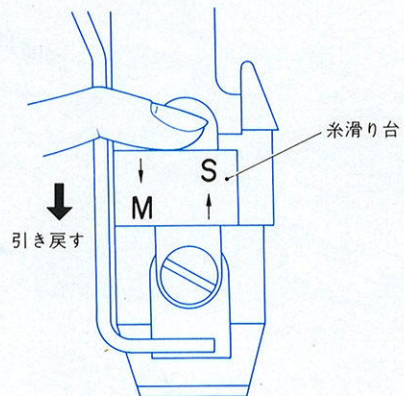
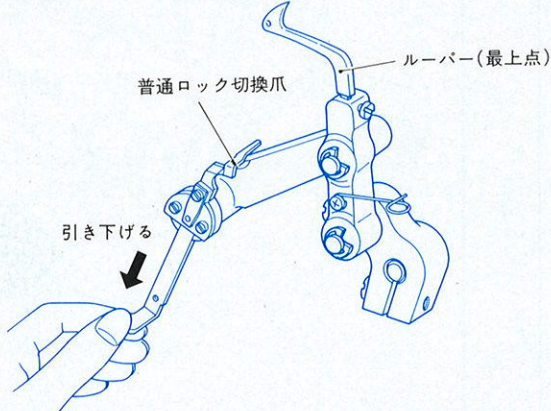
- ① 押え金をあげ、はずみ車を時計方向に回してルーバーをいちばん上に上げる。
- ② 針板爪にからんでいる空縫いを引き抜く。
- ③ 普通ロック切換爪を、針板に当たるまで押しあげる。
- ④ 押え金をさげる。
- ⑤ 糸滑り台を向うにいっぱい押し出す。
- ⑥ 送り目を2.5～3mm位にする。



1—6 普通ロックから巻きロックへの切換え

普通ロックから巻きロックにするときは、次の順序で行なってください。

- ① 押え金をあげ、はずみ車を時計方向に回してルーバーをいちばん上にあげる。
- ② 針板爪にからんでいる空縫いを引き抜く。
- ③ 普通ロック切換爪を、いっぱい引きさげる。
- ④ 押え金をさげる。
- ⑤ 糸滑り台を手前にいっぱい引き戻す。
- ⑥ 送り目を1～1.5mm位にする。



2 糸調子のとり方

このミシンは糸調子の表示がダイヤル式になっております。

糸調子つまみと目盛を正面から見た図

針糸
ルーバー糸

針糸調子目盛
ルーバー糸調子目盛

弱 ← 強
強 ← 弱

針糸調子つまみ
ルーバー糸調子つまみ

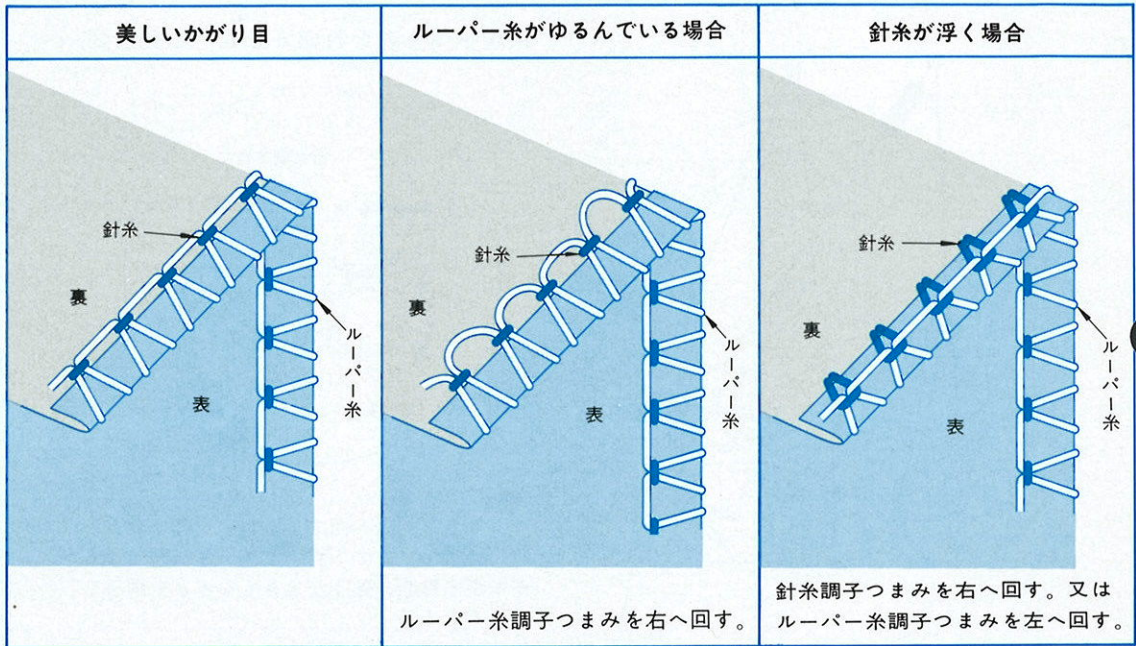
糸調子つまみを
プラス方向へ回すと糸調子が強くなる。
マイナス方向へ回すと糸調子が弱くなる。
※糸調子目盛の数字が大きくなると糸調子は強くなる。

2-1 標準巻きロックの場合

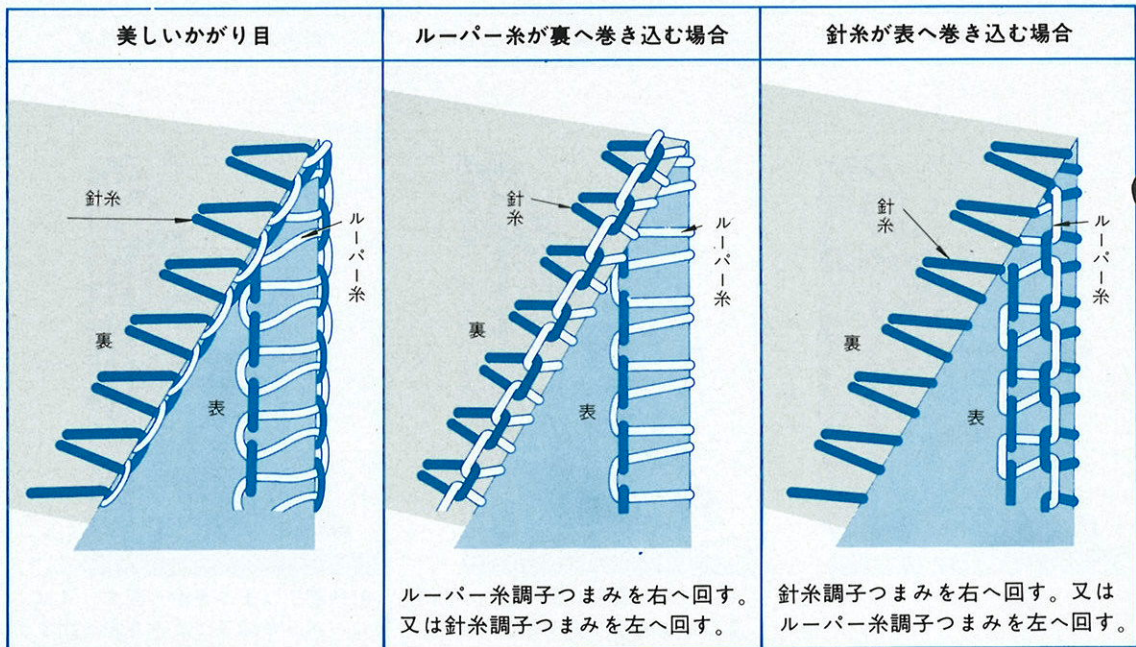
美しいかがり目	ルーバー糸が裏へ巻き込む場合	針糸が表へ巻き込む場合
<p>針糸 ルーバー糸 裏 表 1.5mm 1.5mm</p>	<p>針糸 ルーバー糸 裏 表</p>	<p>針糸 ルーバー糸 裏 表</p>
	<p>ルーバー糸調子つまみを右へ回す。 又は針糸調子つまみを左へ回す。</p>	<p>針糸調子つまみを右へ回す。又は ルーバー糸調子つまみを左へ回す。</p>

2—2 変形巻きロックの場合

このミシンの巻きロックは、標準の縫い目とルーバー糸が巻き込んだ変形縫い目の2通りの縫い方ができます。



2—3 普通ロックの場合



3

布地、糸と糸調子目盛ダイヤル位置の目安

3-1 標準巻きロックの糸調子目盛ダイヤル位置の目安

下表の ■ の範囲内を目安に各糸の調子をとっていただくと美しいかがり目がえられます。(但し、送り目1~1.5mm位の場合)

布 地	糸	針糸調子目盛 W W W W W					ルーパー糸調子目盛 ㄩ ㄩ ㄩ ㄩ ㄩ				
		1	3	5	7	9	1	3	5	7	9
ジョーゼット (ポリエステル)	テトロン #80 ウーリー・ナイロン			■					■		
シホン・ジョーゼット (ポリエステル)	絹 #100		■					■			
薄手トリコット (ポリエステル)	テトロン #80		■					■			
ロ ー ン (綿)	スパン #80			■					■		
裏 地 (ベンベルグ羽二重)	絹 #100		■					■			

3-2 変形巻きロックの糸調子目盛ダイヤル位置の目安

下表の ■ の範囲内を目安に各糸の調子をとっていただくと美しいかがり目がえられます。(但し、送り目1~1.5mm位の場合)

布 地	糸	針糸調子目盛 W W W W W					ルーパー糸調子目盛 ㄩ ㄩ ㄩ ㄩ ㄩ				
		1	3	5	7	9	1	3	5	7	9
ジョーゼット (ポリエステル)	テトロン #80 ウーリー・ナイロン			■					■		
シホン・ジョーゼット (ポリエステル)	絹 #100		■					■			
薄手トリコット (ポリエステル)	テトロン #80		■					■			
ロ ー ン (綿)	スパン #80				■				■		
裏 地 (ベンベルグ羽二重)	絹 #100		■					■			

3—3 普通ロックの糸調子目盛ダイヤル位置の目安

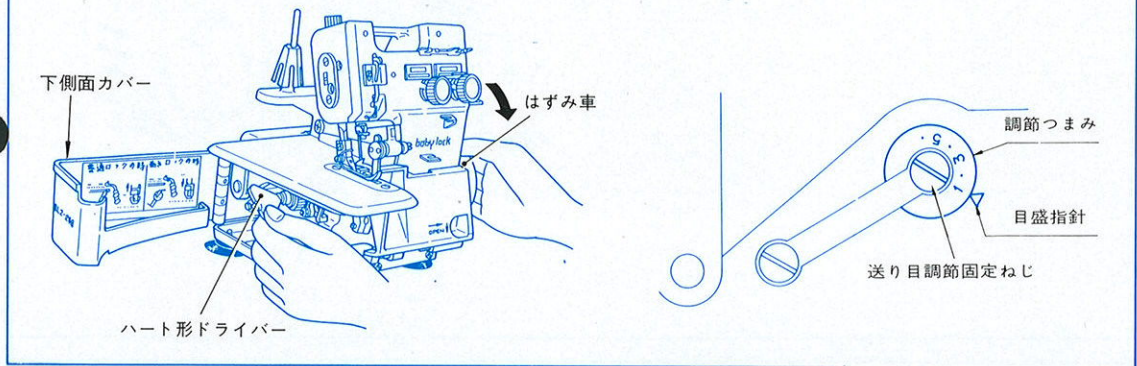
下表の ■ の範囲内を目安に各糸の調子をとっていただくと美しいかがり目がえられます。(但し、送り目2.5~3mm位の場合)

布 地	糸	針糸調子目盛 W W W W W					ルーパー糸調子目盛 ㄩ ㄩ ㄩ ㄩ ㄩ				
		1	3	5	7	9	1	3	5	7	9
ブロード (綿)	スパン #80			■	■				■	■	
ブロード (綿)	綿 #80			■	■				■	■	
ジョーゼット (ポリエステル)	テトロン #100	■	■				■	■			
トリコット (ポリエステル)	スパン #80			■	■				■	■	
トリコット (ポリエステル)	テトロン #80	■	■				■	■			
デニム (綿)	綿 #60				■	■			■	■	
ジャージ (ウール)	スパン #60 ウーリー・ナイロン			■	■				■	■	
裏地 (ベンベルグ羽二重)	スパン #80			■	■				■	■	

4 送り目の調節について

送り目の調節は下側面カバーを開いて行ないます。

- ①左手でハート形の専用ドライバーをにぎり、右手ではずみ車を矢印方向に回して、送り調節固定ねじをゆるめる。
- ②調節つまみの目盛りを目盛指針に合わせる。
(目盛り数字が大きくなると、縫い目も大きくなる。)
- ③調節後は、送り目調節固定ねじを固く締める。



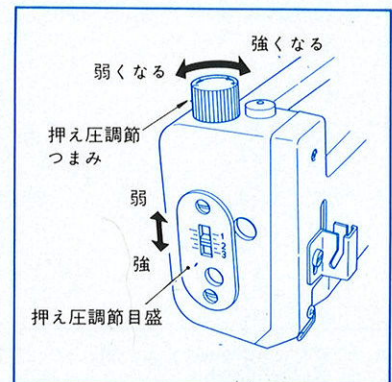
5 押え圧力の調節について

このミシンは押え圧力の表示がダイヤル式になっております。

押え圧力調節つまみをプラス方向へ回すと押え圧力が強くなり、マイナス方向へ回すと押え圧力が弱くなる。

※押え圧力調節目盛の数字が大きくなると押え圧力は強くなる。

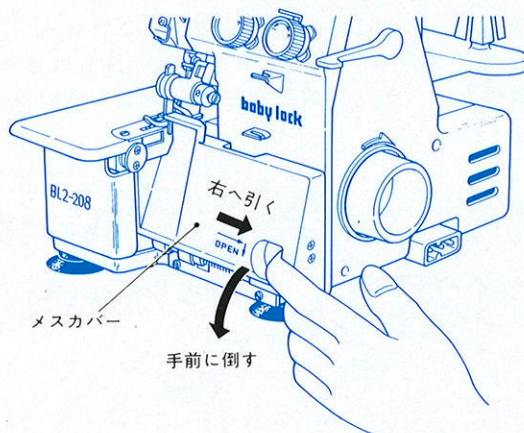
	布地の種類	押え圧調節目盛
薄物	ボイル・ローン・ジョーゼットなど	1.5
中厚物	ブロード・フラノ・トリコットなど	2
厚物	デニム・ジャージなど	2.5



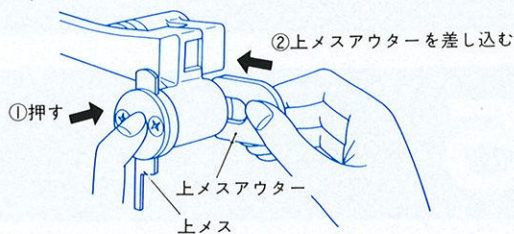
6 かがり巾の調節について

このミシンの普通ロックのかがり巾は標準の3.5mmにセットしてありますが、4mmまで広げることができますので、厚物・織りの粗い物等の場合に御利用いただくと便利です。
その場合は次の順序で行なってください。

①メスカバーを開ける。

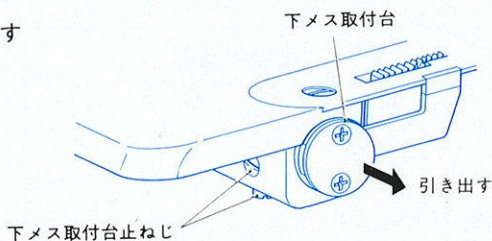


②付属の上メスアウターで上メスを右へ移動させる。



③下メス取付台止ねじ（2本）をゆるめて下メス取付台を右へ止まるまで引き出し、下メス取付台止ねじを締めつける。

④上メスアウターを取り外し、上メスをセットする。

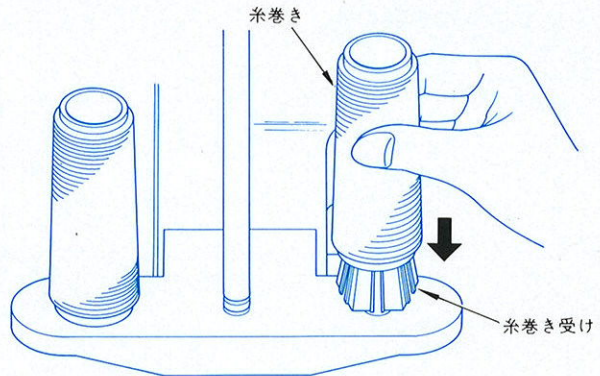


※かがり巾を4mmにした場合の糸調子は、針糸・ルーバー糸共に標準3.5mm巾より糸調子目盛の数字を少な目にします。

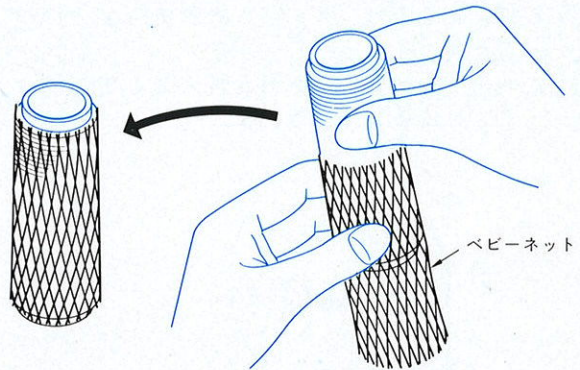
7 糸の交換

7-1 糸巻きのセット

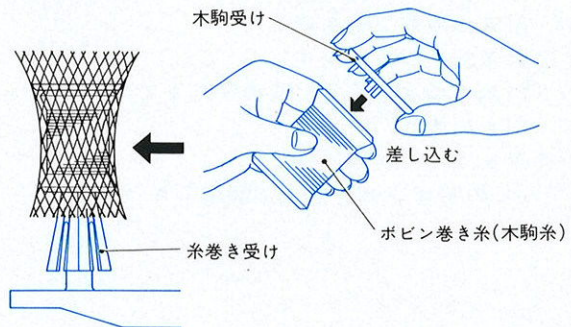
糸巻きを糸巻き受けにしっかりと立てる。



化繊糸などのほつれやすい糸は付属のペビーネットを下からセットして使う。



ポビン巻き糸(木駒糸)の場合は付属の木駒受けを、ポビン(木駒)の穴に差し込んで使う。

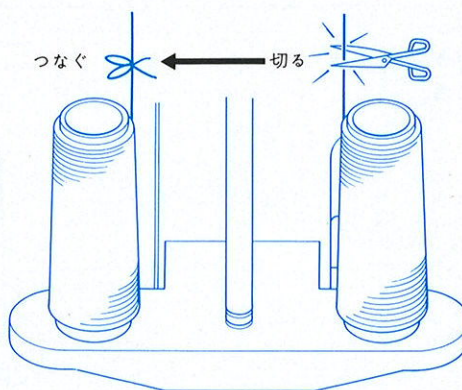


※布地と糸・針の関連表が、21頁にありますので適正な糸を選択してください。

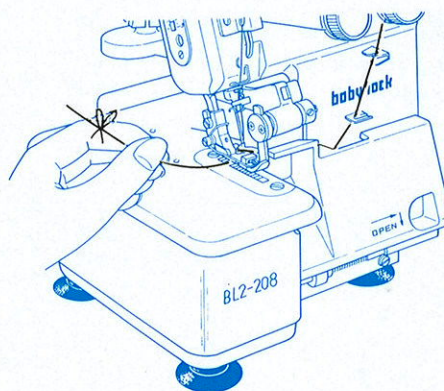
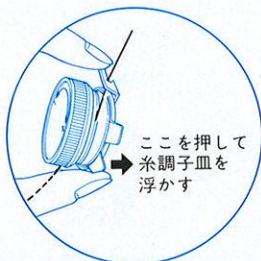
7-2 使用糸の取り換え

このミシンはあらかじめ糸がセットされておりますが、色糸など他の糸に取り換える場合は、次のようにしていただくと便利です。

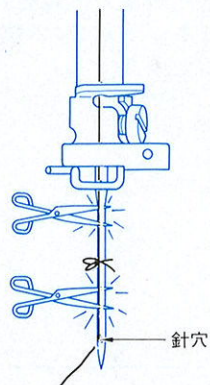
- ①糸巻きの近辺で糸を切り、取り換
たい糸につなぎ変える。



- ②-1 押え金を上げ、ルーバー糸調子皿を
浮かす。
②-2 ルーバー糸のつなぎ目が押え金より
約10cm出るまで引き出す。



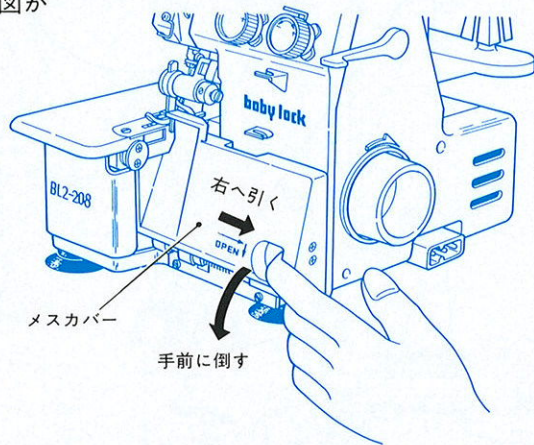
- ③-1 針穴の手前で糸を切る。
③-2 針糸調子皿を浮かす。
③-3 針糸のつなぎ目を針穴の手前まで
引き出す。
③-4 糸を切って針穴に通す。
(この時ピンセットをご使用下さい)



7-3 糸のかけ方

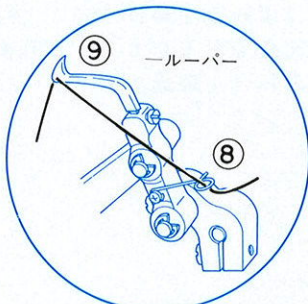
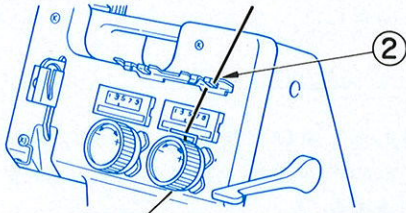
糸のかけ方をまちがえますと、正しい裁縫ができませんので正しいかけかたをおぼえて下さい。

メスカバーを開けると、面板に糸通し案内図が貼付してあるので参照する。



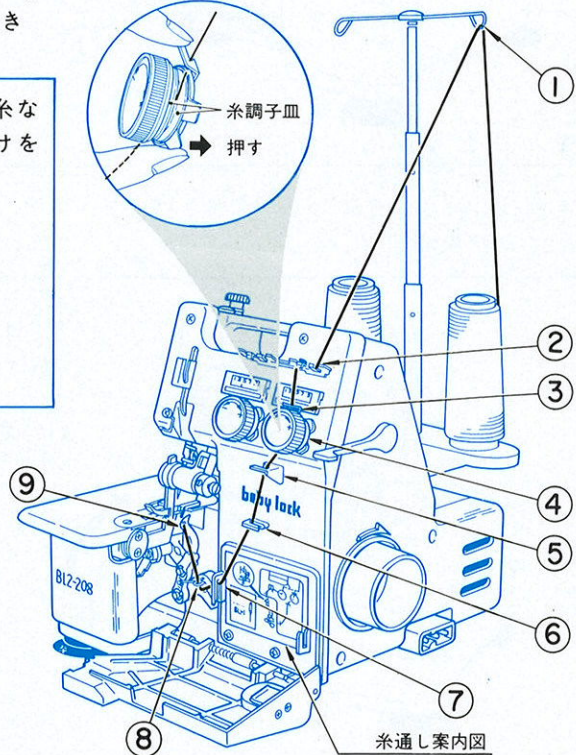
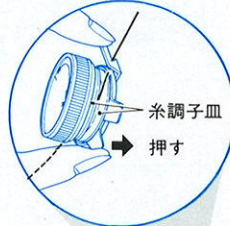
- ① ルーパー糸(桃色マーク)を番号順にかける。
かけ終わったら押え金の下から約10cm引き出して置く。

② 但し、極細毛糸、レース糸、刺しゅう糸などの飾り糸を使用する場合、②の糸かけを図の様にする。

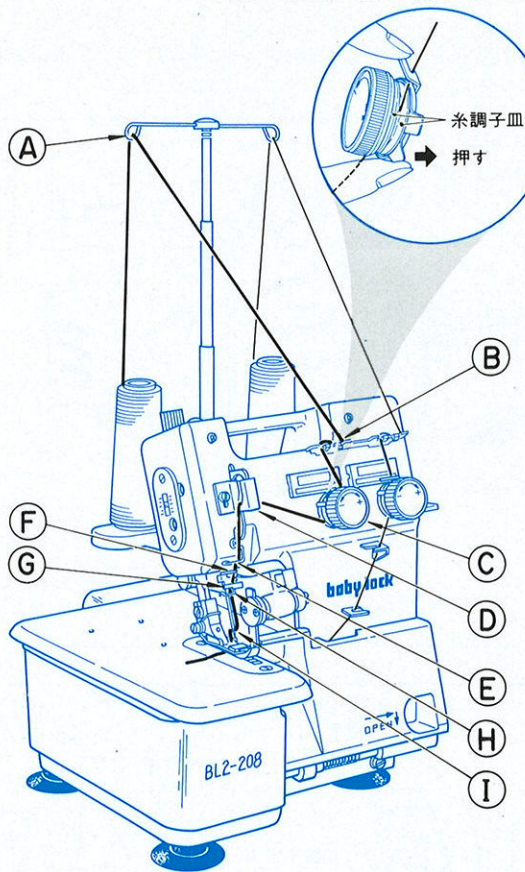


ルーパー部糸通し図

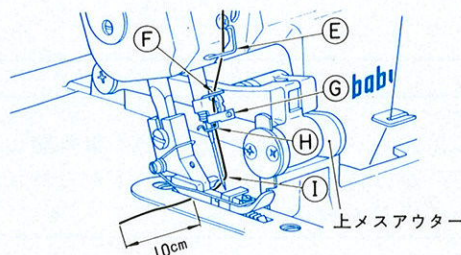
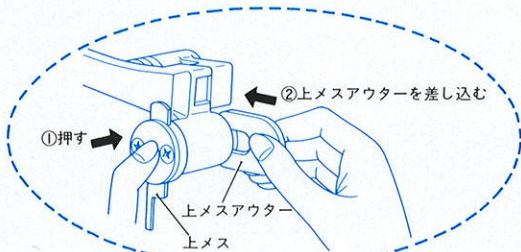
二枚の糸調子皿の間に糸を通す。



二枚の糸調子皿の間に糸を通す

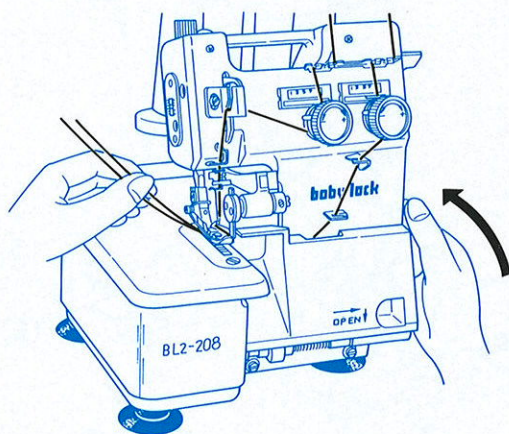


- ②針糸(青色マーク)をA.B.C順にかける。
 針穴には手前から向こう側に通し、押え金の下から約10cm引き出しておく。
 ※針穴に糸を通す場合、附属の上メスアウターで上メスを右へ移動させると糸通しが楽にできます。
 ※糸通しにはピンセットをご使用下さい。



⑥と⑧の糸かけを忘れないこと。

糸を交換したり、普通ロックや巻きロックへ切替えた場合は次のようにして糸のからみ具合を確認してください。

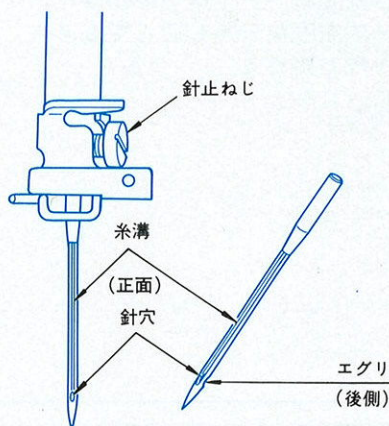
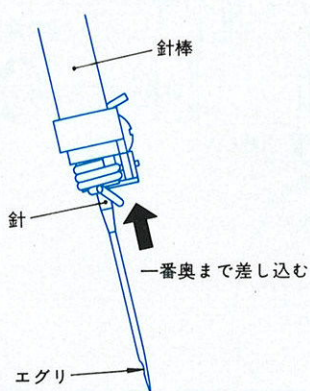
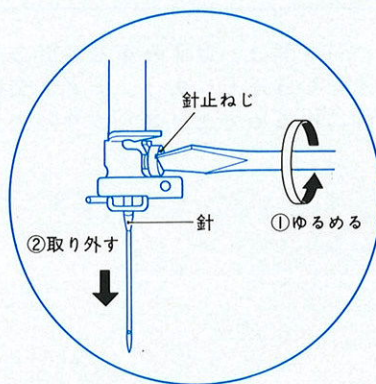
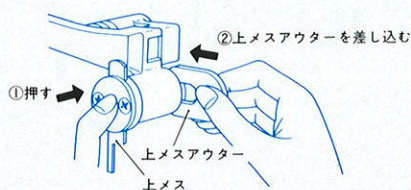


- ①押え金をあげ、押え金の下から引き出した2本の糸を左手で斜め後方に少し張りぎみにつまむ。
 ②右手ではずみ車を時計方向に1回まわしてから押え金をおろして2～3回まわし、糸のからみ具合を確認する。

8 針のとりかえ方

このミシンの針はBL×1 #11が標準となっておりますが、重ね縫い・極厚物縫いの場合にはBL×1 #14を用いてください。

- ①付属の上メスアウターで上メスを右へ移動させる。(作業がやりやすい)
- ②はずみ車を時計方向に回して針をいちばん上にあげ、針止ねじを矢印方向にゆるめて針を取り外す。



- ①新しい針のエグリを後側にして、針棒の穴の一番奥まで差し込む。
- ②針の向きが狂わないように手でしっかり押える。
- ③針止ねじを固く締めつける。
- ④上メスアウターを取り外し、上メスを元に戻す。

※布地と糸・針の関連表が21頁にありますので適正な針を選択してください。

9 メスの交換について

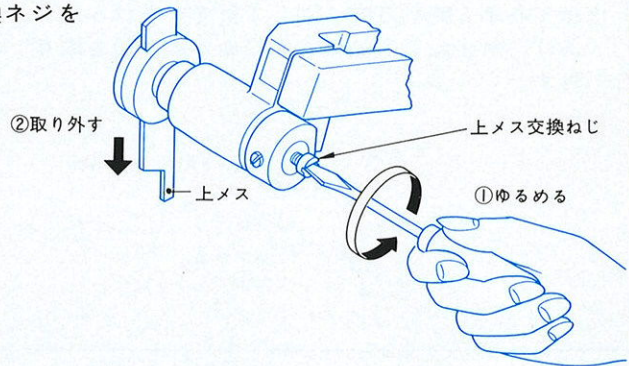
はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

メスは消耗品ですので切れなくなったら交換してください。

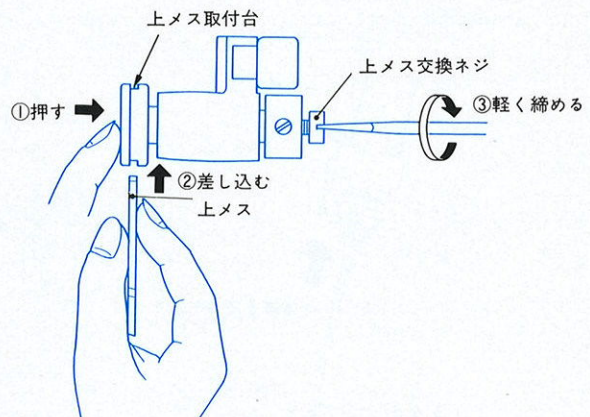
※メスが切れなくなった場合、通常上メスを交換してください。

9-1 上メスの取りかえ方

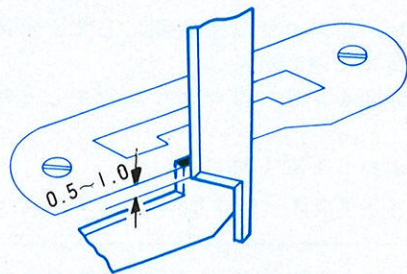
メスカバーを開け、はずみ車を時計方向に回してメスをいちばん上にあげ、上メス交換ネジを矢印方向にゆるめて上メスを取り外す。



上メス取付台を右へいっぱい押しつけ、新しい上メスを下から差し込んで上メス交換ネジを軽く締める。

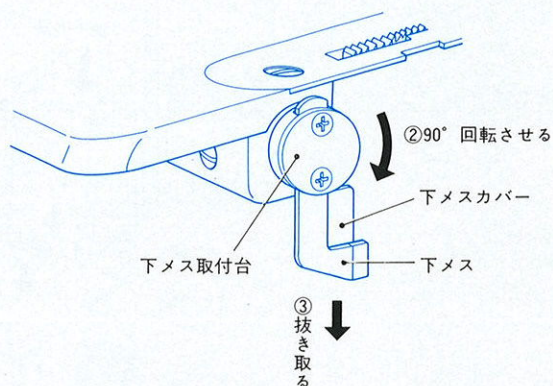
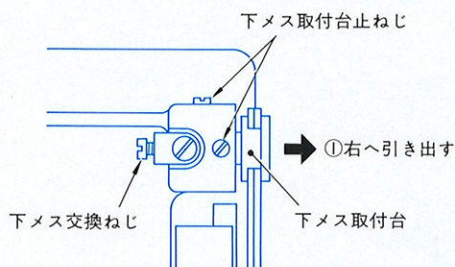


次にはずみ車を時計方向に回してメスをいちばん下げた位置のとき、上メスの手前刃先が下メス刃先上面に対し0.5~1.0 mmていど噛み合うようにしてから上メス交換ネジをしっかりと締めつける。

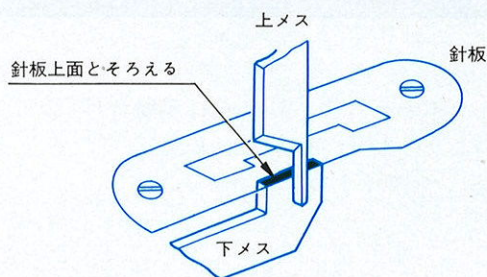
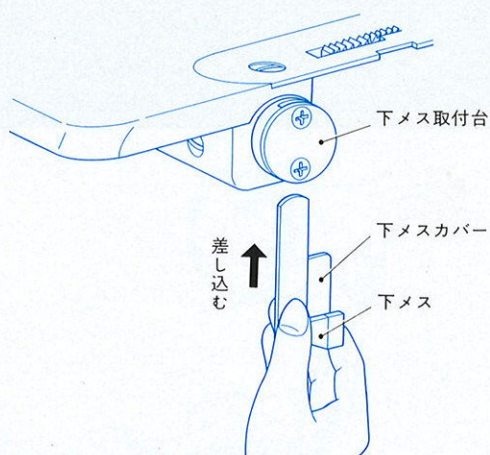


9-2 下メスの取りかえ方

※下メスは、長寿命の特殊な材質が使われていますので、通常交換の必要はありません。



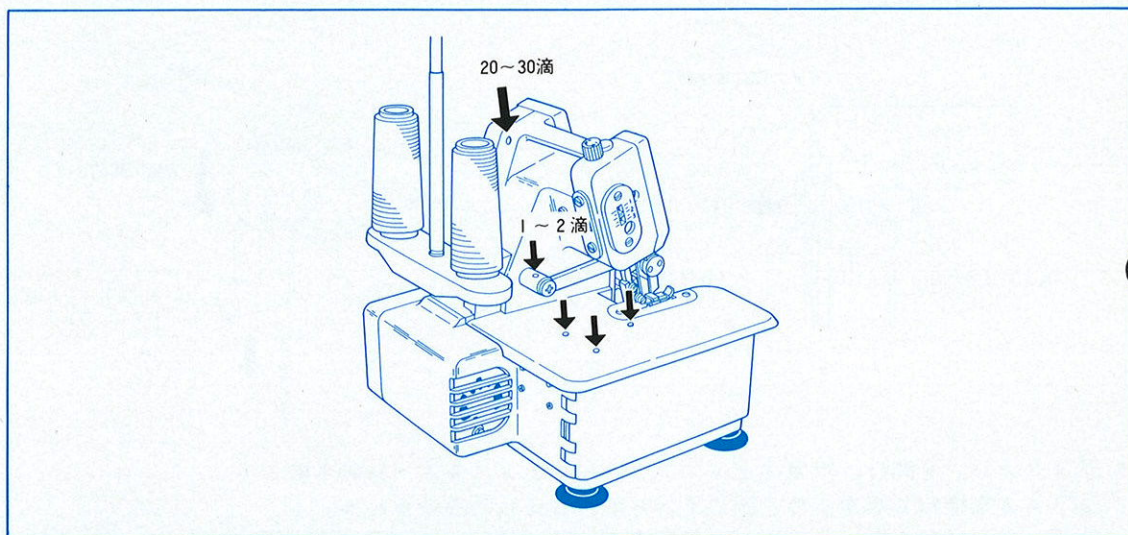
- ①メスカバーを開け、附属の上メスアウターで上メスを右へ移動させる。
- ②下メス交換ねじをゆるめ、次に下メス取付台止ねじをゆるめる。
- ③下メス取付台を右へ引き出し、矢印方向へ90°回転させて、下メスを下メスカバーといっしょに抜き取る。



- ①新しい下メスを下メスカバーといっしょに下メス取付台に差し込み、下メス取付台を90°戻す方向に回転させて、下メス位置を針板溝に合わせる。
- ②下メス交換ねじを締めつけ、下メス刃先上面が針板上面と同じ高さになるようにして、下メス取付台止ネジを締めつける。

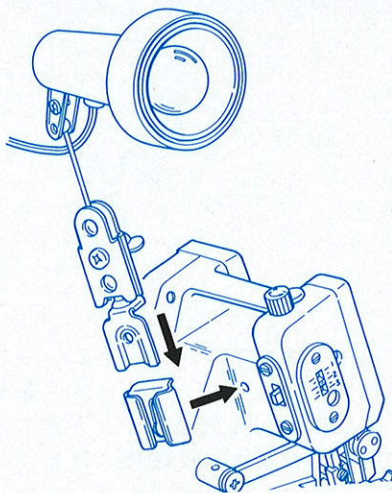
10 給油について

このミシンの大切な個所にはすべて特殊な材料（含油メタル）を用いておりますが、図に示したような個所には定期的に給油して下さい。



11 ミシンライトをつけるとき

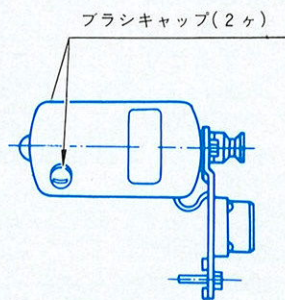
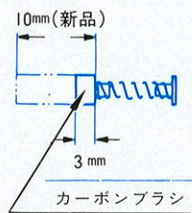
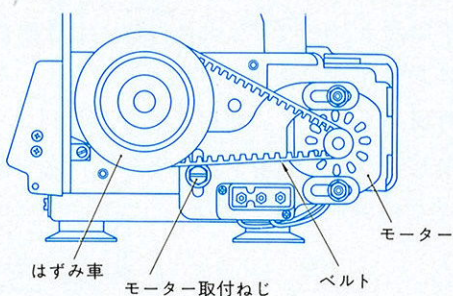
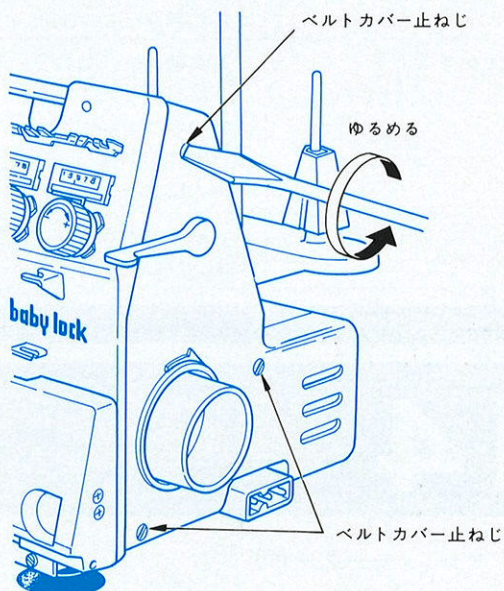
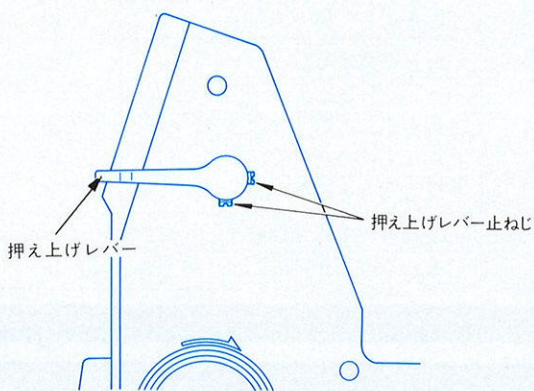
ミシンライトをお使いになれる場合は、右図のようにとりつけてください。
(但しミシンライトは、別売)



12 カーボンブラシの交換について

このミシンに使用しておりますモーターにはカーボンブラシが2個（2ヶ所）取り付けられています。長期間お使い頂くと摩耗しますので下図のように交換してください。

- ① 押え上げレバー止めじ（2本）をゆるめ、押え上げレバーを取り外す。
- ② ベルトカバー止めじ（3本）をゆるめ、ベルトカバーを取り外す。
- ③ モーター取付ねじをゆるめ、モーターを取り外す。
- ④ ブラシキャップを各々取り外し新しいカーボンブラシと交換する。



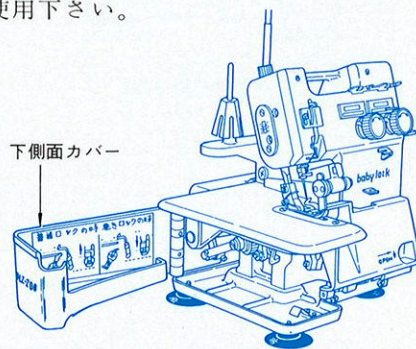
13 点検と調整について

現象	原因	調整	参照ページ
ミシンが動かないとき	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込んでいない。 コントローラーの接続器をモーターに差し込んでいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差し込む。 コントローラーの接続器をモーターに差し込む。 	2 2
糸が切れるとき	<ul style="list-style-type: none"> 糸かけが間違っている。 糸調子が強すぎる。 針が曲がっている。 針の取りつけが間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しく糸をかける。 糸調子つまみを調整する。 針を交換する。 針を正しく取りつける。 	13 5 15 15
針が折れるとき	<ul style="list-style-type: none"> 針が曲がっている。 針の取りつけが間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を交換する。 針を正しく取りつける。 	15 15
目とびするとき	<ul style="list-style-type: none"> 針が曲がっていたり、針先がすり減ったりしている。 針の取りつけが間違っている。 糸かけが間違っている。 押え圧力が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 針を交換する。 針を正しく取りつける。 正しく糸をかける。 押え圧力を調節する。 	15 15 13 9
縫い目の調子が悪いとき	<ul style="list-style-type: none"> 各糸の張力調整が不十分。 糸かけが間違っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 糸調子つまみで調整する。 正しく糸をかける。 	5 13

14 梱包明細

- ミシン(モーター付)
- コントローラーセット一式
- 頭部ビニールカバー
- ご使用のてびき
- 検査合格証
- 保証書
- アクセサリ・ボックス
 - ドライバー (マイナス用) 1コ
 - ハート型ドライバー(送り目調節用) 1コ
 - 針 BL×1 #11-3本(紫色) #14-2本 5本セット
 - 上メス 1コ
 - ピンセット 1コ
 - 掃除用ブラシ 1コ
 - 油差し (30cc入り) 1コ
 - ベビーネット 1セット
 - 木駒受け 2コ
 - 上メスアウター 1コ

下側面カバーのボックスには、お仕事の際に必要なピンセット・上メスアウター等の付属品を入れてご使用されると便利です。但しミシンを使用される場合は、必ず閉じてご使用下さい。



15 布地と糸・針の関連表

	布地の種類	糸	針
木綿 麻	〔薄地〕 ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など	綿 #100 スパン #90	BL #11
	〔厚地〕 コール天、デニム、キルティング、ギャバジンなど	綿 #60~50 スパン #80~60	BL #11 #14
絹	デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど	絹 #100 テトロン #80~100	BL #11
毛	〔薄地〕 トロピカル、ポーラ、ポプリンなど	スパン #80 テトロン #80 絹 #50	BL #11
	〔普通地〕 サージ、ギャバジン、フラノなど	スパン #80~60 テトロン #80~60 絹 #50	BL #11 #14
	〔厚地〕 ベロア、キャメル、アストラカン、ツイード、メルトンなど	スパン #60 テトロン #60~50 絹 #50	BL #14
化繊 混紡	〔薄地〕 ジョーゼット、ボイル、サテンなど	スパン #90~80 テトロン #100~80	BL #11
	〔厚地〕 シャンタン、ツイル、スエードなど	スパン #80~60 テトロン #80~60	BL #11 #14
ニット	トリコット (化繊、合繊) 天竺	スパン #90~80 テトロン #80~60	BL #11
	ジャージ (毛、合繊)	スパン #80~60 テトロン #60 絹 #50	BL #11 #14
	パール編 (毛、合繊) ゴム編 (毛、合繊)	スパン #80~60 テトロン #60~50 ウーリーナイロン ウーリーテトロン アンダリア	BL #14

BL2-208型仕様表

基本項目	仕様
かがり巾	巻きロック1.5㎝・普通ロック3.5~4㎝(標準3.5㎝)
縫い目(送り目)	1~5㎝(巻きロックの場合標準1㎝) (普通ロックの場合標準3㎝)
針棒ストローク	27㎝
メス上下量	7㎝
押え上り量	4㎝
使用針	BL×1 #11 #14
使用糸本数	2本
給油方式	油心装置付手差方式
ミシンの大きさ	タテ255㎝、ヨコ250㎝、高さ305㎝
ミシンの重さ	8kg(モーター付完成品)

便利なベビーロック専用アタッチメント

飾り縫いガイド

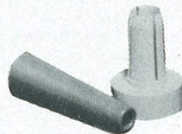
フチ始末のいらぬ生地や、フチを断ちながらでもきれいな飾り縫いができます。(ベビーロック専用)



現金正価650円(別売)

ラクラクワインダー

大きな巻き糸から小さい巻き糸が簡単にできます。(ベビーロック専用)



現金正価750円(別売)

万一、機械にトラブルが発生した場合、又、メス等の消耗部品をご購入される場合はこのマークのお店にお問い合わせ下さい。



●ベビーロックはローンでお求めいただけます。

株式会社 **ジューキ**

東京都中央区八重洲2丁目7番地2号(八重洲三井ビル)

☎03-272-2851~7